

# 弘法大師正御影供

5月6日(日) 午前10時より

(旧暦 3月21日)



## 轉法輪

己を他に  
從えんと欲わ  
ず  
ただ他を己に  
從えんと欲  
わ

弘法大師

平成三十年四月十六日発行  
発行所 犬飼山轉法輪寺  
〒六三七一〇〇七二  
奈良県五條市犬飼町一二四  
電話〇七四七二二一四四〇三  
FAX〇七四七一五一四七一七  
編集発行人 桑山聖淳  
印刷所 森本印刷工業所  
和・伊都郡かつらぎ町妙寺

桜が散りゆき、石楠花が境内を彩ります。眠っていたかのような梢に萌える新緑に、いのちの息づきを感じます。

本年も弘法大師御入定の聖日を盛大にお祭りいたします。みなさまお誘い合わせのうえご参拝下さい。

**法要** 午前十時より

内吉野結衆寺院総出仕

**記念講演** 午後一時より

笑いと健康

ー笑って元気に生き生きとー

南和広域医療企業団

吉野病院院長 **福岡篤彦氏**

もちまき

午後二時半より境内にて

屋食接待

チャリティーバザー

シャトルバス運行

橋本駅より

犬飼山轉法輪寺

お大師さま  
のお言葉

自分のものさしで他人を測ってはいけません。相手の目線に立って共感し、痛みを感じとろうという姿勢を持つことの大切さを説かれた一文です。

# 神犬ゴン

住職 桑山慈紹



世界遺産のひとつ紀州九度山慈尊院の境内、弘法大師像の御足元にゴンちゃんの石仏が祀られて数年になりました。このゴンちゃんは白毛の中型犬で、素性は野良犬であります。然しながら、このゴンちゃんは只の犬ではありません。徒歩で町石道を辿り参拝されるお遍路さん先導する犬だったのです。ゴンちゃんの石像を作られた慈尊院の安念僧正様は、当初は大の犬嫌いで

ありました。しかし沢山の方からお寺にお礼のお手紙や品物、高級米ササニシキまで届けられました。そこには「ゴンちゃんに食べさせてあげて下さい。」「本当にお世話になりました。無事に高野山へ導き頂きました。」どなた様からでも丁寧に書かれた手紙が添えられていました。やがてゴンちゃんの名は世間に知られるようになり、テレビ等でも紹介され、立派な本にもなりました。何故ゴンちゃんは神犬になったのか。それは、高野山へお遍路さんを導いたからです。人を導くこと、ここに大きな教えのヒントがあると思えるのです。

我々人間も、そんな聖人ではありません。悔やんだり怒ったりする凡人であります。でもその凡人である我々が神になれる、仏になれる教えがここに、あるのではないのでしょうか。人を導き、助けること。何か自分に出来る範囲内で行なってみようではありませんか。その時、あなたは神となっているのです。生きた仏になっているのです。伝教大師は「己を忘れて他が為につ

くす人は国の宝なり」と言われました。弘法大師は「菩薩の勝慧あるものは、常に衆生の利をなして涅槃におもむかず」と理趣経を通して示されました。私達は自己中心的なものです。その中で少しでも他人の事を思いやること、これが神となる仏となる第一歩と考えられるのです。

## 春の邦楽コンサート

4月28日(土) 不動尊法要に続いて、11時頃より開催

本年も橋本高校・古佐田丘中学校の邦楽部の皆さんが、お寺に箏の音色を響かせてくれます！

高校生は「努力・自信・勇気」、中学生は「みんなで音を創り、音を奏で、音を楽しむ」をモットーに、日々練習に取り組んでおられます。邦楽全国大会の常連校の、素晴らしい演奏と立ち居振る舞いの美しさを感じて頂ければと思います。

曲目は、

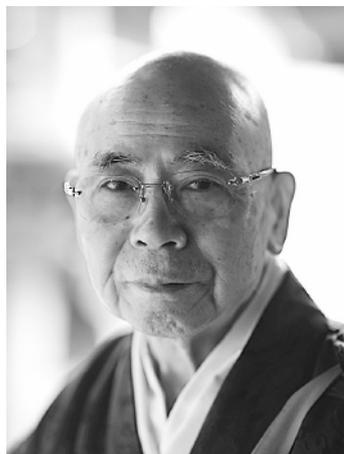
「さらし風手事」「春の小川」「おぼろ月夜」他。

毎月21日は月並御影供(9時半～)・28日は不動尊護摩供(9時～)です。どなたでもお気軽にご参拝くださいませ。入退出自由、昼食お接待です。

# 生かせいのち

## 【第五十七話】

名誉住職 桑山聖規



### 空海上人弘法大師

今年の五月六日は、宗祖弘法大師の正御影供になります。正御影供は大師御入定の聖日で、旧暦の三月二十一日であります。御入定は普通の人の死去とは違います。大師は断食断水でお座りになり佛と一体になる御修行をされ、その後の方でお弟子さん達も一心

に祈り続けて朝の寅の刻、午前四時過ぎに呼吸が止まりましたが、体は座禅のままであったといひます。その後四十九日の間自坊で御安置し日々御膳を供えて拝み続け、五十日目に今の奥の院に移られました。時は承和二年旧暦三月二十一日の早朝でありました。大師は御入定前に御誓願をされました。

虚空尽き衆生尽き

涅槃尽きなば

我が願いも尽きなん

解釈しますと、虚空とは大宇宙のこと。地球を含めた宇宙も無くなり、一切の生き物(衆生)も無くなり、涅槃(一切の煩惱が消えて解脱した悟りの境地)も無くなれば、私の誓願も終わって無くなる、五十六億七千万年の間、私の誓願は終わらない。余すこと無きすべての衆生を助けずにはおかないという、偉大な大誓願であります。何の為にそんな大誓願を立てられたのでしょうか。大師は総ての生き物は皆仏性を持つている、佛の子であると説かれました。然し人は、貪・瞋・痴の

三毒煩惱にまつわれて、身と口と意とに罪を造って、その果報にもろもろの苦を受けている。此の苦悩を救済するために法を説き、又加持して除難し守護しよう。五十六億七千万年後に弥勒菩薩が降りて来られるというその日まで。

此の無限のお慈悲を拝聴する時、三拝九拝して感謝あるのみです。そして感謝するだけでなく、自分も大師の御誓願の百分の一でも社会衆生を救済させて頂きたいと願って、修行するのが未徒の信念であります。信者の皆様は出来るだけ罪を造らぬように、また人が幸せになるように考えて生活することが信仰するものの心得であります。

たとえば毎日大師の御宝号、南無大師遍照金剛を一心に拝み、お賽銭のつもりで少しづつ貯金をして、社会福祉に寄金するのも大師の御心に叶う浄行であります。無理の無いよう永く続けることが徳積の行であります。

正御影供は内吉野地区の結集寺院のご住職総出仕で勤める大法要です。講演は吉野病院院長、福岡篤彦先生の「笑

いと健康―笑って元気にいきいきと」の題でお話頂けます。他にもチャリテীবザー、もちまき、昼食お接待など企画をしています。皆さまお誘い合わせてご参拝下さいますようお願い申し上げます。

## 寄稿文

## かれんな桜に

坂田笑津子

床の間に生けた冬桜が咲いている。その小さな白い花びらは、恥じらう新妻のように初々しく愛らしい。「きれいやねえ」「お前が喜ぶと思って取ってきたんやで」「いやっ、またうまいこと言うてからに」

夫は、伐採の仕事をしている。切り取った花木の中に、生け花に使えそうなものがあると持ち帰ってくれるのだ。梅あり、サンシュユあり。私は、現金の次に花が好きなお妻である。

戸外では固く身を閉ざしているつば

みも、家の中に入れてやると眠りから覚めたように膨らみ始める。ぽつちりと、柔らかくほどけていくさまは、寒い季節に安らぎを与えてくれる。

結婚して三十六年。ただただ、はじめに働き、子どもを育て、質素に暮らしてきた。しゃれたプレゼントなどくれたこともない夫だけれど、変わらぬ愛情を持ち続けてくれていることをうれしく思う。

私はといえば、新妻時代があったのが信じがたいような利かん気で、我が道を突っ走っている。それだけならまだいいが、無理やり夫の手を取り、「お父ちゃん、こっち、こっち！」と引きずり回す。あきらめ顔でついてきてくれる夫。そういえば、似たような夫婦を詠んだ川柳が新聞に載っていたなあ。

これではいかん。かれんな冬桜を見ていて気がついた。いくつになろうと、見た目は年老いていようと、「可愛い女房」でいなければ……。

「めざせ、可愛い古女房」今年が目標はこれに決めた。

## あした天気になあれ

小松裕衣

厳しかった冬が過ぎ、ようやく暖かい春がやってきました。出逢いと別れの季節、新しい命が芽生く季節…いかがお過ごしですか。

先日、うちの次男が保育園を卒園しました。入園したばかりの二歳の頃、「いや、いや」と通園をぐずった姿を思い出し、その小さな背中がいつの間にか大きくたくましくなっていることに胸がいっぱいになりました。

無事に式が終わり、子どもたちがそれぞれに記念の写真を撮り合うのですが、なぜか次男は写真を撮りたがらないのです。「誰かと写真を撮らないの？」と聞くと、「撮りたい子がいない。」との返事。

卒園したら会えなくなってしまう子もいるのに、なぜ？誰とでも



# 輪 法 轉 (5)

すぐ仲良くなるムードメーカーの次男がどうして写真を撮らないのかと残念に思いましたが、そのままに終わりました。

家に戻ってから、なぜ写真を撮らなかつたのか尋ねると、「僕はクラス全員と友達だから、誰か一人に決めることなんてできないよ」六歳にして、大人びたせりふを言う次男にまた、ハツとさせられた一幕でした。

親は我が子が生まれた瞬間から「父親・母親」にならねばなりません。まだまだ半人前の私ですが、「お母さん」と呼んでくれる小さな命があるかぎり精一杯応えていく務めがあるのだと思います。子どもが小学一年生になる親としても成長していきたいと思えます。さあ、この春は一体どんな出会いが待っているんでしょう。自分が一年生だった記憶を思い起こしながら、また子どもと一緒に人生を生きなおせる幸せ。新聞紙で作った剣を振り回して「ちゃんばらごっこ」をする三人の男の子たちを眺めながら、今日もあつという間に過ぎていくのでした。

## 大師と共に生きる

須藤 佑子

九十年のいのち賜ひし介護する娘を給びしかな南無大師遍照金剛

此の度私は満九十才を迎えました。二十才までは到底生きられないだろうと医師や占師に言はれ虚弱な私でしたが、幾度も命の灯が消えそうになると再び燃え立つ御取り計らいを下さり今日まで御守護賜りました。

顧ますと、甲狀腺手術の際は万人に一人あるかないかの反応にて窒息し花野をさ迷う臨死体験から蘇り、偽痛風の激痛と高熱の折には、御大師様が現れ五針桿で御加持をして戴く不思議な有難いことがありました。思えば常に桑山聖規名譽住職の熱い御祈祷のお力を頂いてのことでございます。

昨年夏、思いがけず転倒し座骨骨折の大怪我をしてしまいました。在宅での激痛の毎日に、寝たきりになってしまふのかと不安で気力体力共落ち込んで居りましたが、また桑山聖規先生の御祈祷を頂き暖かい励ましの御言葉

を頂きまして、八か月経った現在は歩行器で外出し歩けるようになりました。誠に有難い極みであります。

限りなき祈りに触るる現し身は  
試歩のひと足大地踏みしむ

絶望の長き月日を放れとぞみ声  
しるがねの風に乗りくる

また、長い療養の日々を心のこもった看病と介護をしてくれた娘は何よりの宝物です。お大師さまへの御礼の万分之一にもと願ひ、写経をさせて頂き漸く五百巻を越えました。長寿を頂いて居るのも写経の功德かと存じます。日々感謝の心を愈々深くし、写経に励んで居る此の頃でございます。

春の歌唄えばやさし風花のきらめき  
遊ぶ般若心経の空

写経するわが時の間を傍らに待つ  
亡父亡母のまぼろしの椅子

雪降らば受けむてのひら風吹けば  
飛ばす罪咎きりりと老いむ



お子様の撰名を致します。出来るかぎりご両親の希望に沿いながら、姓名学に則った良名を選ばせて頂いております。

## 歌に寄せて

三木栄子



いつの頃からか忘れてしまいました  
が、轉法輪寺さんにお参りした信者さ  
んと共に、季節にちなんだ歌や、仏教  
歌を歌ってまいりました。先日「どう  
いう気持ちで歌われていますか」と尋ね  
られ、今一度自分の気持ちを整理し確  
かめてみようと思いました。

他所のお寺ではなく轉法輪寺さんで  
あるのは、私が生まれる前から既に強  
いご縁を頂いていたということに間違  
いありません。犬飼に生まれ、祖母や  
母のお参りする姿を見ながら、この地  
の自然の中で遊び、育まれたのですか  
ら。時と共に辺りの景色や環境は変  
わってまいりましたが、昔ののどかな  
風景は今も心の中に懐かしく残ってい  
ます。

お寺で歌わせていただく時は、いつ  
も仏様の存在に感謝し、歌を捧げよう  
という気持ちで満ちみちています。ま  
だまだ拙い歌なのですが、全力投球で  
す。そしてお参りした皆さまがより明  
るく豊かな心に満たされ、少しでも元  
氣を得る妙薬たぐよぐになればいいなあという  
気持ちで臨んでいます。

歌は専門家を除き、自分の心にまか  
せて好きに歌えばいいものです。自由  
に好きに歌うことは、心の表現の一つ  
としての役割があり、大切なものだ  
なあと思います。しかし、人間らしく心  
と体を意識的に使った歌の積み重ね  
は、想像以上に幅広く豊かな世界へと  
誘いざなってくれます。例えば、詩と向かい  
合い、詩人の心を探し求め、そこに自  
分の心を移します。すると家にいな  
らにして海を眺め、森の空気に触れる  
ことが出来ますし、遠い昔の想いの中  
に浸ひたることも、体験したことのない世  
界にまで踏み込むことが出来るので  
す。歌う前に一味もふた味も楽しませ  
てくれます。そしていよいよ体を上手  
に使用して声を出します。腹筋や臀筋でんきんを  
使い横隔膜おちかくまくをしっかりと下げ、肺を広げ

そのエネルギーを元に声を出し、心を  
その流れに乗せ遠くに運んでもらうの  
です。

歌うことは誰もが既に身につけてい  
ますが、先述のような手順を辿たどっての  
歌は慣れていません。少しづつ、眠っ  
ている筋肉を目覚めさせ、勇気を出し  
て声を出しますと、自まずから体中に酸  
素が行き渡り、血流が活発になっ  
てくのがわかります。そして何かしら気  
分が晴れやかに、また体が軽くなっ  
てきます。これらのちょっとした変化が  
生きる力に役立たってくれるのです。

何十年にわたり歌と向き合あってまい  
りました私ですが、まだ未熟で納得の  
いくレベルには程遠いものです。師か  
らは未だかつて甘い褒め言葉をかけて  
もらったことはありません。実際まだ  
まだなんですから、当然のことです。  
でも諦めないで、聴いてくださる人の  
心に届く歌を求め続けたいと思ってい  
ます。

二十一日、二十八日は轉法輪寺さん  
の広い教堂で皆さまと一緒に恥かずかしが  
らず、伸びやかな歌声をひびかせてい  
きたいですね。

「空海と2匹の犬」五條市近内町藤岡家住宅

弘法大師信仰にまつわる資料120点の展示。6月24日まで。  
問い合わせ：0747-22-4013

イベント紹介

# 輪 法 轉 (7)

当山で行われた「犬の置き物づくり教室」  
「消しゴムはんこ教室」の感想文を送って  
くれました。

## 最高の品物と思いつ

橋本小学校六年 上田 梨央

おばあちゃんが「土曜日に犬飼山で、犬の置き物作りがあるけど行くか？」と誘ってくれました。おばあちゃん、お父さん、妹、私の四人で行きました。粘土みたいなのを使って、犬の体と顔のパーツを作り、それをくっつけるという作り方でした。私は図工が得意なのですが、いざやってみると、犬の形を上手に作れなかつたり、触っているうちにひびが入ってきたり、すごく難しかったです。でも、先生が「うまくできてるよ」「上手！」とほめてくれ、かわいい犬ができました。帰りの車では「楽しかったな」と喜んでいました。また別の日、消しゴムはんこ作りにおばあちゃんと、妹と私で行きました。一から三十までの数字を、参加者のみんなで作りました。彫刻刀を使ってほり、カレンダ

彫刻刀でほるのは学校でもやったことがあり、スムーズにできました。なので、近くに座っていたおばあさんが次々にほめてくれました。うれしかったです。この工作に参加させてもらって、いい品物も思い出出来ました。



## 遍路の旅の中で

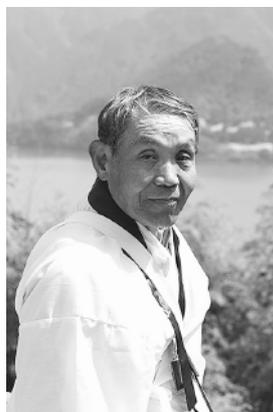
五條市田殿町 宮尾 正三

この度の四国遍路は、阿波・土佐に続いて、伊予を主に二十四ヶ寺を三泊四日での旅となりました。総勢二十二名が晴天のもと満開の桜に迎えられて、大変楽しくお参りすることが出来ました。又初日の朝のお勤めの後、今感じている事を発表する機会があり、又帰りの車中でも遍路の感想を話す事になり、何回も廻られている方、初めの方、それぞれの気持が表れていて大変意義のあるように感じました。

朝六時朝食、夕六時夕食で一日中きちんとしたスケジュールの中で忙しい一日を過ごすことはさすが修行だなど感じました。前もつて五十七番榮福寺の白川密成住職の小冊子を頂いたので、興味をもって『空海さんに聞いてみよう』という本を納経所で買求め、何回か読み返してみようと思っております。

土佐の遍路以来私は「お大師さまに生かされている」と強く感じるようになってきました。これからお大師さまの事を勉強して少しでも近づけたらと念じております。轉法輪寺の四国巡拝団を通じてこの様な気持ちになれたこと、大変うれしく思っています。最後に、副住職様はじめ今回お世話になりました皆様に厚く御礼申し上げます。

平成三十年四月七日



### イベント紹介

「高野山千年の森・森林セラピー体験ツアー」  
古道歩き・阿字観・クラフト体験などコース多数。  
問い合わせ：高野山寺領森林組合0736-56-2828

# 来る5月6日(日)

## ◆もちまき

2時半ごろ



## ◆法要

午前10時より



正御影供

記念講演 午後一時より

笑いと健康

―笑って・元気に・生き生きと―

南和広域医療企業団

吉野病院院長 福岡篤彦氏



〈プロフィール〉

昭和三十八年七月七日生まれ。平成二十八年より吉野病院院長に就任。

外来診療のほか、地域へ出て在宅医療にも取り組む。呼吸器内科を専門として、慢性閉塞性疾患(COPD)について研究を進めてきた。

COPD患者は長い呼吸困難から不安を抱えている方が多く、笑って元気になって欲しい、リハビリに前向きになって欲しいとの思いで笑いヨガを始めました。誰でも簡単に出来る笑いヨガは、高齢者や糖尿病など病気を抱えている方々に明るい生活をもたらし、元気な方にもより一層、健康になるきっかけがあるのではと考えています。

―ご奉仕のお願い―

正御影供の諸準備のため、お手伝いをよろしくお願い申し上げます。

五月五日(土) 餅つき・旗立

掃除など

五月六日(日) 当日(八時から)

お世話人様は、ハッピー袈裟  
腕念珠をご着衣下さい。

五月七日(月) 後片付け

〈お知らせ〉

五月二十一日(月)の大師法会は五月六日の正御影供に振り替え致します。

### シャトルバスのご案内

今回も、橋本駅⇔轉法輪寺間の小型バスを運行します。どうぞご利用下さい。

### シャトルバス時刻表

橋本駅発	7:30
	8:30
	9:30
	10:30
轉法輪寺発	11:30
	13:30
	15:30